氏	名	山本	辰 見
1	<b>≠</b> □	Ш/Ұ	$\mathcal{W}\mathcal{T}$

### (株)ナカヤマエッグ

養鶏場の臭気対策が一定の効果を発揮しているのかなと感じましたが、説明を受けた場所、 位置が排風機の反対側で、そちら側の視察は断られました。その点は残念です。

# 宝達志水町役場

宝達志水町役場職員の対応は養鶏場を積極的に応援する立場が鮮明で、批判的な意見 を受け入れる姿勢が見えませんでした。

## 現地関係者

共同浴場施設「宝湯」の支配人さんの意見・思いは、養鶏場会社や町役場の発言と大きな 差があり、また、近隣の区長さんたちの意見についても、一般の町民が率直な意見を責任者 (区長さんたち)に集約することをためらっているのではと受け止めました。

現地で美浜町の芋沢での建設計画の概要を説明していただきましたので、この内容で、野間・奥田地区、関係団体の方を迎えての「住民説明会」を強く要望します。

「コミュニケーションが大事と」皆さんがおっしゃっていました。

## 氏 名 鈴木美代子

宝達志水町 人口 12,854 人、世帯数 4,961 世帯、面積 111.52 k㎡、 高齢化率 38.2%、予算規模 令和2年度一般会計当初予算 8,053百万円

芋沢での養鶏場建設計画はまだ具体的になっていません。住民の間では「匂いは大丈夫か」 「住民には羽毛は飛んでこないか」「汚水の影響はないのか」等々不安があります。美浜町は 第5次総合計画において「ひと・まち・自然・健康・輝く町美浜」を基本理念とし、土地利用の方 向性も定めている。

(株)ナカヤマエッグ 施設はウインドレス鶏舎のためほとんど悪臭はありませんでした。養鶏施設とわからないぐらい、鶏の鳴き声はありませんでした。(株)ナカヤマエッグはワクチン卵食卓卵までがうたい文句で、ワクチンを卵から作るとはびっくりしました。(株)ナカヤマエッグのそばには団地(民間のアパート)、ゴルフ場、銭湯(風呂施設)もあり、カステラなどを作っている直売所もありました。

近隣住民の反応 風呂施設での支配人さんの話にはびっくりしました。悪臭や羽毛が飛来して 空が白くなるほどで、健康被害があり、大変だったということです。役場に抗議に行ったが、役場 へ抗議に行くのは私たちぐらいと嘆いていました。

公害防止協定は締結していないとのことですが、臭気基準については県の基準に基づいて いるとのことでした。

氏 名 森川 元晴

議会常任委員会合同視察リポート(ナカヤマエッグ)

私たち議員は専門家でもありませんので、施設 (鶏舎)の概要等はなかなか理解することは 難しいと感じる。

外観的には立派な施設である、ただある程度の臭気は覚悟していましたが、無臭であること に逆に違和感を感じました。

今回自分自身のテーマとしては、「企業努力による住民または周囲との調和・共存・共栄」を テーマに視察をさせて頂きました。

近年の養鶏事業、畜産経営は管理システム等、衛生管理も充実されていて、鶏舎と言うより も工場(プラント)と言うイメージでありました。

(問題点)

企業としての「誠実さ」また、住民(他の業種等)に対しての「誠意」が最も大切であると感じます。また地元養鶏(畜産)農家との「共存」も大切な事と感じます。

(今後の進め方)

町としては「企業誘致」は最大の目的でもある事も考慮。

町としての「規制基準値」「規制地域」を明確にすること。

「メリット」「デメリット」を住民にしっかりとした説明が必要。

## 氏 名 石田 秀夫

なぎさフアーム 海岸なぎさハイウェイの入り口に近い高台に位置していた。近くに道隔てた隣にはゴルフ場、道沿いで100メートル離れた宝湯という銭湯(公衆浴場)があるところ、集落とはすこし離れたところに位置する。バスを止めたところ(外来訪問者に対して)鳥インフルエンザ対策を含めた衛生管理基準に基づいての立ち入り範囲、鶏舎の入気側であり排気側ではない。この敷地内で糞処埋も行っている。インフルエンザワクチンを造る為の鶏卵製造とのこと。水路のにおい 集卵所から出る排水と思われるが異臭あり。

### 宝達志水町役場にて住民課、産業課の説明を聞く

戦後、食料増産時代から千里浜養鶏組合にて養鶏飼養、近年、火事に見舞われ現在の施設となる。旧、養鶏飼養の時は、苦情が多かったようだ。地域住民の生活環境を守るため覚書を交わしている。内容は県の基準によるもの。町独自の基準はない。臭気環境対策会議を設けている。業者による臭気測定予算付けている。測定位置は境界。地元区、住民からのここ 5 年6 年苦情ありません。一件ございましたが、ここ直近ございません。

### ゴルフ場の社長、宿区長今浜区長の話を聞く

ゴルフ場社長 良好な関係を保つ。関東、関西からのお客さんでプレイ中の臭気に気になる人がいる。社長では、夜10時過ぎ、早朝臭いがする、感じる。

**宿区長** 昔、山があって山を採ったら臭うようになった。養豚場の一軒あった。今はなくなったが、交渉しながら対応要求。最近 5、6 年苦情はありません。

**今浜区長** 住民側うすい臭いはある。ないのではない。今のところトラブルはない。

### 宝湯のご主人の話を聞く

臭い、羽(羽毛)今現在も風向きによって(海風、山風)飛んでくるし、臭いがする。露天風呂も持っているので、羽が入って来る。お客に苦情を受ける。役場、本社に申し入れてもその時は、一時的に改善がみられた。エアーカーテン、噴霧による対策。今現在も臭い、羽、変わらず。役場に苦情を申し出ても取り合ってくれない。岐阜の養鶏システム設備会社(社名まで教えてくれた)にまで改善点はないのか、申し入れたが中山さんの問題ですのでと、取り合って貰えなかった。365 日居ればわかりますよ。

#### **所見** 現在養鶏システムにおいて完璧なものはない。

なぎさ農場はいぜん大昔から養鶏組合時代、ゴルフ場、宝湯以前から飼養していた経緯であるが新たな出店は考えられない。今までないところにできるのであるから、ましてや風向きにより臭い、羽も飛ぶ。町と公害防止協定を結ぶといわれてもその前段階で断るべきであり、今現在岐阜にて新農場建設中とのことのようだが、他の自治体での用地選定していただくよう申し入れるべきである。

### 氏 名 杉浦 剛

様々な情報が飛び交うなか、各々に膨らむイメージに希望や期待、不安など、それらを抱えて現場を見て、行政の対応や地元の人の話しを聞く機会を与えて頂きました。

若い頃より、「とにかく現場を見、話しを聞け」とよく言われたことが思い出されました。

本当にそのとおりだと思います。時代と共に、人々の意識も機械・設備も変っていきます。

それと共に変わらぬ価値観もあります。

地域の共存共栄であり、地域の生活環境を守る為の信義であります。

宝達志水町の近隣の村との覚書に基づき、対策会議を設けて、改善へ向けて歩み寄った 経過も知ることが出来ました。関係者が誠意を持って事に当たれば、一歩づつでも、半歩でも 前に向かっていけます。美浜町の様々な課題も努力していきたいと願いました。

又、60万羽という大規模養鶏というナカヤマエッグさんの今回の美浜への進出は、当社の技術力や設備に大いに期待するものですが、「宝湯」の社長の谷内田氏の言葉がとても気にかかりました。どの業界も完全、100%はありませんが、まだまだ検討の余地はあります。

近隣住民の方々や地元区、ゴルフ場の会社、野間漁協の方々、日本福祉大、美浜町民そして風向きにより臭気害の恐れのある隣町の南知多町民の方々の理解と協力の得られるように、これからも話し合いの場、協議の場を設けることが必要と思います。

この大規模養鶏場進出が経済効果と環境のバランスをどう考えてゆくのか試金石となると思います。

П	H	中心田	ΨΠ
17	名	廣澤	黎

(株)ナカヤマエッグさんの、なぎさファーム(30 万羽)を視察した感想ですが、ほとんど臭い
(鶏糞等の嫌な臭い)は感じられませんでした。
ただ、私達が視察に訪れた時は嫌な臭いはしませんでしたが、近隣住民からは風向きにより
凄く臭いがし、窓が開けられない時もあると聞きました。
少し残念でしたが、美浜町民には、事実を伝えたいと思います。
(株)ナカヤマエッグの社長さん曰く、「臭気・羽の飛散・ハエ等の害虫」の問題は常に有り、
いかに近隣住民に迷惑をかけないように日々改善策を取っていくかが大事、との言葉を聞き、
その姿勢は信用出来るのでは、と感じました。
千里浜カントリークラブの社長より
美浜町に、もし来ることが決まれば将来のことを考え、協定を結ぶべきだとアドバイスを頂きま
したが、その通りだと思いました。
あとは、美浜町にも臭気を数値でわかるように、臭気計測器を持ち、既存の養鶏場等の臭気
を計っておくべきと考えます。

## 氏 名 大嵜 暁美

### 第一日目

- ・アレルギーのこどもが食べられるたまごを作った話、飲用できる水を使用し衛生面で安全な 卵を作ると発言されていたので、ナカヤマエッグが卵作りに真摯に取り組んでいると感じた。
- ・伊賀産業でも感じたが、近隣の住民に迷惑をかけないことにとても配慮している。美浜町の養 鶏業者にもその気持ちが欲しい。
- ・苦情があった場合、整備点検し、行政、関係者に内容、改善点を報告しているそうで、感心した。
- ・地元の人、優先で雇用しているが、不足する部分は、外国人を雇用しているとのことなので、 日本人が勤めたくない過酷な仕事内容もあるのかと、思った。
- ・全体的に感じたことは、卵にかける熱意と、臭いなど衛生面に気をつけ住民に理解してもらう ことを大事にしている企業の姿勢で、好感を持てるものだった。

### 第二日目

- ・宝達志水町の担当課長さんから、ナカヤマエッグの苦情への対応(施設の改善、社員教育の徹底など)や過去5年苦情がないことをお聞きし、ナカヤマエッグの企業姿勢を2日目も感じることとなった。
- ・新鶏舎を建設するときに、町の勧めで近隣区と「覚書」を締結しているので、美浜町も建設する前に、締結するようにしたい。
- ・ゴルフ場の田中さん、区長の柏崎さん、松田さんのお話と、宝湯の谷内田さんのお話が大き く違いっていた。臭いの感じ方には個人差があることから、臭気を測定し数値で示すことが必 要だと思った。
- ・今回は、美浜町の従来の養鶏場の酷い状況から、新しい養鶏場を危惧し視察に行くことになったが、養鶏場の臭いやハエなどの対策は、日進月歩で進んでいて、美浜町の養鶏場だけが改善しようとしていないことを痛感した。

改善しようとしていないことを痛感した。	

# 氏 名 中須賀 敬

宝達志水町の寶達町長、柴田議長の同席を賜り、定免住民課長、松原農林水産課長等よ
り詳しい説明を頂き、また様々な質問に対し真摯にご回答頂き、感謝に堪えません。
(株)ナカヤマエッグ様の真摯な態度で、一生懸命に応対して頂いた事にとっても感謝してい
ます。現場では、臭気についても、ほとんど臭わず不愉快な思いは、全く致しませんでした。
地元の宿区長今浜区長のお話も、ここ5,6年は、区民からの苦情も全くないとの事でしたし、
隣接する千里浜カントリークラブの田中社長さんに於いても、以前は随分臭気が気になってク
レームを入れたこともありましたが、5年位前からは、殆ど気にならないとの事でした。
工場建設にあたっては、隣接地域住民の方々に充分理解して頂き、今後何かトラブルが起
こったときは、迅速に真摯に対応して頂ける企業だと感じました。
今後とも、間違う事なく、美浜町の発展と、住民の生活向上に役立てていきたいと、思いを新た
に致しました。
最後に、この視察研修にお力添えいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

氏 名 横田 貴次

## 石川県 株式会社ナカヤマエッグでの感想

経営陣の皆様と懇談をする中、これまでの取り組みで悪臭の改善に向け一定の効果を上げていることは、営利を第一とする拝金主義的な企業運営・理念されている企業とは違い、事業を展開する企業として、事業を展開する地域における責務を果たしてきたと見受けられました。また、社会に対する貢献事業として取り組んできた、インフルエンザワクチンの製造に使用する卵や、幼児の卵アレルギーへの課題解消に向けた卵の製造に取り組むなど、養鶏業のノウハウを社会貢献へ活用する企業の姿勢は素晴らしいと感じました。

### 石川県 宝達志水町 町行政としての対応の感想

地域の悪臭に関する苦情に対して、企業と向き合い県・町と連携を深め、臭気の課題を良い方向へ導いた行政としての姿勢は、本町も見習うところが多くあると感じました。特に、近隣住民と連携して取り組んだ「苦情日記」など町民の声を形にし、これに合わせた数値的な検証の積み重ねを丹念に行ってきたことは、行政対応の基本だと改めて感じました。臭気測定に関する予算を計上し取り組んできた姿勢は素晴らしいと感じました。本町も臭気に関する町民からの苦情も多く、長年にわたり取り組んできましたが解決に至っていない現状を鑑みると、これまでの本町の対応と宝達志水町の臭気に対する対応を比較検討し、本町の臭気問題への解決の一助とすべきだと感じました。

## 近隣地域を視察した感想

養鶏施設から70m付近で車外から臭気を確認したが全く臭いは感じられませんでした。飛散する鶏羽も注意深く探しましたが1~2枚ほどの小さな羽を見かけた程度でした。密閉型養鶏施設通用門付近で、浄化槽で浄化した排水が水路を流れていました。排水から若干の嫌な臭いを感じましたたが、本町の保健センター前の駐車場に設置されている浄化槽排出の臭いと同じレベルだった。近隣地元2区の区長さんや隣接するゴルフ場経営者に状況を伺うが、ここ数年において悪臭等の問題は発生していないと伺いました。隣接する入浴施設の代表者からは、毎日、悪臭・鶏羽の飛散が酷いと、全く正反対の状況を伺いました。前日に養鶏施設の見学の際、自社のボイラーでお湯を沸かすため、真黒な煙を煙突から吐出し廃材を燃焼させている現況を目の当たりにしました。入浴施設訪問時、会社の前に廃材が山積みとなっている現況の企業体質を鑑みると、信憑性に欠けると感じました。

### 議会としての今後の取り組み

今回の視察研修を通して議員として今後取り組めることは、宝達志水町の臭気に関する取り組みを参考に、本町現状の臭気対策を見直すと同時に、臭気を数値で表す努力と投資をし、積み重ねた数値・データーを根拠として、目に見えない臭気レベルを「見える化」することが重要だと感じました。また、本町の臭気に関する規則を進化させ、町内環境の向上に努めることが重要だと感じました。

### 氏 名 荒井 勝彦

あいにくの雨となりましたが、本町に事業進出を計画している(株)ナカヤマエッグの本社農 場と宝達志水町を視察させていただきました。既に一部の住民と議会議員による鶏舎建設反 対の意思が示されておりますが、あくまでも中立な立場で、実際に自身の鼻で周囲のにおいを 嗅ぎ、関係者の話を直にお伺いできたことは大きな収穫でした。私は養鶏場のイメージとして は、本町に既存する古い大規模施設を思い描いていましたが、それとは比較にならないほど の設備を備えた施設でした。最初に降り立った鶏舎から 70mの近距離に位置するリゾートマン ションの駐車場では、当初の想像に反して、私はほとんど鶏舎独特のにおいを感じることはあり ませんでした。隣接してゴルフ場「千里浜カントリークラブ」入浴施設「宝湯」いちご狩り&トマト 狩り観光農園「トレジャーふぁーむ」があるのも驚きでした。 (株)ナカヤマエッグの代表取締役 社長 中山真一氏は養鶏業というにおいの問題を避けて通れない業種の経営者として、常に 問題と対峙し改善を施して周りの理解を得ようとする態度が印象的でした。地元区とも良好な 関係を保っており、大きな苦情は聞かれませんでした。特に印象深かったのは「千里浜カント リークラブ」の代表取締役 田中義久氏の話でした。30 年以上このゴルフ場の経営に携わる同 氏によれば、以前はにおいがする時もあったが、その都度話し合い、養鶏場側が改善し現在は ほとんど感じないレベルだと仰っていました。常にコミュニケーションをとり、良好な関係を保っ ているそうです。コンペの賞品に同社の卵を採用するなどお互いに共存共栄を目指しているそ うです。 反面、入浴施設「宝湯」の谷内田英夫氏は全く逆の立場でした。今でも強いにおいを 感じ、空が真っ白になるほどの羽根の飛散があるそうです。にわかには信じられないご意見だ と思いました。事実ならば地元区の区長さんやゴルフ場の田中氏からもそのような話があるは ずです。 宝達志水町役場の記録によれば、年数回同一人物から苦情があるが、ここ数年は その人物のみであるとのことでした。「におい」は個人によりその感じ方は様々であると思いま すが、コミュニケーション不足、最初のボタンのかけ違いが将来に渡り考え方のズレを生むのか と思います。本町に事業進出を計画している場所は、市街化調整区域の畜産団地に隣接する 地区だと伺っています。前回の同業他社の計画では奥田坪山地区で、日本福祉大学に近接 することから私自身も建設には懐疑的な考え方を持っていましたが、既存の畜産団地に隣接 する地区で、美浜町の税収に寄与し、雇用を創設するのであれば共存共栄もあり得るのかとも 思います。

## 氏 名 大岩 靖

今回の養鶏場視察に関して、議員として視察の意義を考えました。

目的として、あくまでも先入観を持たず中立の立場で、見て、聞いて、感じた事を正しく判断して伝える。その思いをもって視察しました。

一日目のナカヤマエッグ養鶏施設に関しては、周辺の施設に議員全員バスから降りて臭気 を確認しても、当日小雨交じりの曇り空の条件下でも誰一人悪臭を感じる議員はいないようで した。

養鶏施設内にバスに乗車したまま窓を開け排気される臭気は、驚くほど微量でした。

養鶏施設のすぐ前にある農業施設(いちご狩り他)の従事者に臭気に関しての苦情などの間き込みしたがほぼ無い、悪臭がする所に後から農業施設など建てませんと言われ納得しました。

その後、養鶏施設内にて代表者より施設概要・質疑応答がありました。

二日目は、宝達志水町にて養鶏施設など畜産業に対しての取り組みを伺いました。

特に臭気に対する対応については、県が定める臭気基準を基にそれ以上に厳しい(低い)基準を町条例で設け、施設側と協議し対応する。

今回の視察で感じた事は、美浜町内の悪臭を改善するには、しっかりとした基準を作り、既 存の施設に改善をするよう働きかけて行かなければなりません。

### 氏 名 横田 全博

美浜町に進出が予定されている㈱ナカヤマエッグに、養鶏施設の現状を調査・理解のため総務産業委員会の一員として視察に訪れた。現地の宝達志水町は、人口13,000人程の海と松林が美しい、本町と似通った町である。視察先のナカヤマエッグなぎさファームは、海岸から500mほど離れた松林の中にあるが、1km内に、2つの集落やゴルフ場があり、マンションまでは70mの距離である。

### ナカヤマエッグなぎさファーム

30万羽を飼育のほか、有精卵や医薬品原料卵等を製造できるウインドレス多機能鶏舎設備である。防臭や羽毛拡散、害虫防止のほか鶏インフルエンザ感染防止のため徹底した衛生管理がなされ、一見すると完全密閉の工場のようであった。鶏糞の処理は水分60%に調整された後、密閉式搬送装置にて鶏糞処理所に移送、その日に発酵処理を行う。発行処理に伴い発生する臭気は、最新の脱臭装置にて処理を行う。羽毛は網で飛散防止がはかられる。井戸水を使用し、116 ㎡/日使用。工場全体は、無塩型次亜塩素酸水で消毒され清潔さを維持している。 工場外、及びマンション前では、臭気はほとんど感じられなかった。その広い駐車場で2片の羽毛を見つけた。翌日、ゴルフ場の支配人、近隣の集落の区長さんにもお話を伺ったが、改修した後ここ5年ほとんど臭わない。遠来の客がたまに「なんのにおい」と訊ねる程度とのこと。羽毛の飛散もない。したがって、トラブルもない。 これからの養鶏業の経営は、地域住民の理解と協力が不可欠であり、それを得るための企業努力と情報開示がなにより必要ではないか。住民とのwin winの関係を築かない限り、企業の発展はないとのナカヤマエッグの姿勢が感じられた。

#### 宝達志水町役場

寳達町長様はじめ、関係部署の皆様にお話が聞けた。悪臭の苦情は、ここ5年はない。それ以前は、あったが、役場職員・県保健福祉センター・県家畜保健衛生所とともに、現地を調査し、臭気測定を実施。指導や対処方法を協議していた。また、平成18年より覚書を締結し、近隣集落区長及び役員、県関係職員、町職員、ナカヤマエッグで対策会議を開催しています。ちなみに、臭気調査時、アンモニアの大気中の濃度は、県基準の1ppm以下に決められておりますが、境界で0.052ppmの測定値であったとの報告がありました。このように、近年はトラブルもなく、順調に操業がなされている模様です。しかし、事故等予期せぬ事態が発生する懸念はぬぐい切れず、覚書等のセーフティネットは設けておかなければならないと思います。それが、町民の安心安全につながり、その後の新規企業参入も期待できると思いました。

### まとめ

鶏舎の建設は、近年飛躍的に進歩しており、環境に充分配慮した設計となっており、それでなければ、養鶏業は成り立たないとの認識が常識化したためと推察される。翻って町内の養鶏業の現況を見ると、県の臭気規制をクリアーしている(と報告があった)とはいえ、民家に近い南部地域では、頻繁に悪臭を感じられる。最新設備の鶏舎導入が見本となり、既存鶏舎改善のきっかけとなることも期待される。 予定されている立地は、畜産団地内であり、法的にも何ら阻害する要因は見当たらない。粛々と推移を見守るべきであろう。 しかしながら我々議員は、再度臭気条例等関係文書の勉強をし、現在の美浜町にふさわしいものであるのかを、関係者のご意見を伺いながら検討をする姿勢を示すことも必要と思われる。環境問題を改善するには養鶏(畜産)業者と近隣住民が直接コミュニケーションをとることが必要となる。そのため、行政(議会)は、業者及び近隣住民の双方と十分なコミュニケーションをとり、両者が直接交流できるよう橋渡しの役割を果たすことが重要であるとのことが今回の視察で得た大きな収穫である。

以上

# 氏 名 野田 増男

まずこの視察で最初に感じたことは、臭いが無いことに驚きました。
石川県ナカヤマエッグでは近隣のゴルフ場、地元区とも良好な関係に感激し、ただ近くの
宝湯の方は臭くてとか、羽根が雪のように降ってくると言っていましたが、ゼロではないと
思いますが、少なくて我慢できるくらいだと感じました(美浜町の養鶏場と比較して)。
私たちが最初に降りたところから、宝湯の煙突が見え、黒い煙が出ていて、異様な臭いが
していたのを感じました。
この宝湯の方はナカヤマエッグと前に何かあったのかと思うところです。
美浜町ではこのような事が無いようにしたいものです。
また、6次産業で卵を使ったプリンを作って販売しており、大変美味しいものでした。
こうして地元に溶け込んでいるのだと感じてきました。

氏	名	丸田	博雅
$\Box$	· / /	XI HH	
$\perp$	<b>-</b> □		17771114

第1日目は、ナカヤマエッグなぎさファーム視察
飼養規模は、30万羽(成鶏24万羽、育成(ヒヨコ)6万羽)、食用卵と受精卵対応(ワクチン
用)をウインドレス鶏舎にて行っている。
臭いの元の鶏糞処理は特殊な消臭剤を使用し、密閉した中で行っているとのこと。
完全な管理に見受けられたが、美浜の規模は60万羽と聞いているので少し不安は残った。
第2日目は、宝達志水町にて養鶏事業者への指導と共に美浜町議会提出の質問に対して
の回答を町担当よりしていただいた。
過去5年間の苦情等を含め「覚書」を関係区、近くのゴルフ場などと、ナカヤマエッグが取り
交わしている近隣の施設(ゴルフ場、温泉施設)の話を聞いた私共が現場を視察した限りでは
臭いなどの悪いイメージはなかった。
しかし、温泉施設の経営者は現在でも臭い、羽根など異常な状態だと、強い不満があるよう
だ。
ただし、町、区長、ゴルフ場の皆さんは全く臭わない訳ではないが、5~6年前から、ずいぶ
ん良くなっているとのことでした。